

公務上死亡災害の発生状況

(平成24年度認定分)

平成26年2月

地方公務員災害補償基金

第2 公務上死亡災害発生事例

(2) 石綿曝露による被災

【事例9】自動車整備業務に従事したことによる石綿曝露

団体区分：都道府県 職員の区分：その他の職員
死亡年齢：60歳代 災害発生年月：平成21年2月
傷病名：肺癌

(概要)

清掃事業所で35年間、清掃車両の整備に従事し、石綿を含む粉塵に曝露したため、肺癌を発症した。

【事例10】家屋破壊活動等に従事したことによる石綿曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：消防職員
死亡年齢：50歳代 災害発生年月：平成20年8月
傷病名：胸膜中皮腫

(概要)

消防職員として火災防ぎょ出動時の家屋破壊活動、消防学校のボイラー点検業務、阪神・淡路大震災の救助活動等で石綿に曝露し、胸膜中皮腫を発症した。

(安全・衛生対策)

健康診断の実施及び防塵マスクの配布を行った。

【事例11】水道課にて石綿管切断等に従事したことによる石綿曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：電気・ガス・水道事業職員
死亡年齢：70歳代 災害発生年月：平成19年9月
傷病名：右原発性肺癌

(概要)

昭和47年から平成4年まで石綿を使用した水道管の切断等の業務に従事していたため、右原発性肺癌を発症した。

(安全・衛生対策)

希望者に対して定期健康診断時に石綿健診を実施。